



富士をのぞむ 活気あふれる

交流のまち

おやま



—— 小山町は、町民にとって、心から大切にできる町。富士山が美しく、水がとてもおいしいから、米や野菜もおいしく、自然豊かである。一人ひとりが、明るく生活できる生き生きとした町。こんな素晴らしい町、小山町はわたしにとって心から自慢できる大切な町です——（小・中学生の作文から）

まちづくりの将来

町は「第4次総合計画」を策定するにあたり、町の将来や、まちづくりをテーマに、小学5年生と中学2年生から作文を募集しました。どれもが、町のことを真剣に考え、希望にあふれる内容でした。

総合計画は、まちづくりの指針となる大切な計画です。第4次総合計画は、平成23年度から平成32年度までの10年間の計画期間として「自主自立」「健康心」「協働・共創」を基本理念に、将来像を「富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま」としました。

日本の象徴「富士山」のある小山町。富士山とその周辺の自然環境をはじめとした豊かな恵みに抱かれています。また、町内には新東名高速道路や国道などの交



通機能とともに、これらを活かす都市機能が整いつつあります。

小山町に住む人が主役になり、町民相互の交流を高め、富士山のある豊かな環境の中で、心豊かで活気のある交流を深めていくまちを目指します。

この将来像「富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま」を実現するため4つの基本目標を決め、さらに35の基本施策を設定しました。町民の皆さん、企業、行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら、協働して活気あるまちづくりを進めていきます。

基本目標

1 便利で快適なまち

(環境・都市基盤)

2 安全・安心なまち

(健康・福祉・危機管理)

3 いきいきとしたまち

(教育・文化・産業)

4 計画推進のために

(広域行政・行財政運営・協働)